

通販事業核に収益拡大

クリエイイティ ブ力など磨き 全売上高200億円へ

ファーマフーズグループの明治薬品は、当面の業績目標として売上高200億円の達成を目指す。実現に向け、カギを握るのが通信販売事業。2021年夏にファーマフーズグループ入りし通販事業を手がけるようになったが、これが大幅な収益拡大に寄与。21年5月期に約53億円だった全体の売上高は、25年7月期には約168億円と約3倍に増大した。通販事業において重要なのが「商品力」と「クリエイティブ力」。魅力ある商品を生み出す研究開発力、そして商品購入を促す「うたい文句」などを着想するクリエイティブ力をさらに磨き、通販事業を伸展させるなどとして、定置目標を必達する。

明治薬品は1948年 薬品（OTC医薬品）を
の創業以来、富山市の工 はじめとした自社製品を C事業 を行ってきた。
場を活用し、医薬品の製 卸売業者を通じてドラッ そして21年夏にファーマ
造委託事業（CMO事業） グストアといった実店舗 フーズが明治薬品を子会
と第2、3類の一般用医 で販売するコンシューマ 社化したことで、明治薬



商品開発のようす（上）。一般消費者に購入してもらえようという創意工夫し訴求している

品は自社製品を、般消費者に直接販売する通信販売事業に乗り出した。ファーマフーズからノウハウの提供を受けながら通販事業を育成してきた結果、早期に主力事業に成長。25年7月期の明治薬品の通販事業の売上高は約124億円、全体の売上高の約70%を占めるまでにいたった。

今後とも収益拡大を牽引するのが通販事業だ。通販事業を伸展させていくうえで不可欠なのが商品力とクリエイティブ力。商品については第2、3

類、指定医薬部外品に分類されるOTC医薬品。さらには機能性表示食品といった特色あるものを豊富に取り揃えている。ドラッグストアなどの実店舗で販売してきた既存商品も通販で売れている。ロングセラー商品の整腸・消化薬「ラクトロン錠（指定医薬部外品）」、そばかす、日焼け・かぶれによる色素沈着を緩和する「ハルspan C錠2000」（第3類OTC医薬品）、「第1類の

炎症による排尿痛、頻尿、残尿感を和らげる「フルクスK錠（第2類OTC医薬品）」などの既存商品は通販でも好評を博している。

新商品も次々と開発し、通販で販売している。前期（25年7月期）は体力虚弱で冷え性、貧血傾向があり疲労しやすい人のめまい、耳鳴りなどに効果的な「てんらい

清流錠（第2類OTC医薬品）などが伸び、昨夏には夜間尿、排尿困難といった症状を改善する「てんらい黄望星（第2類OTC医薬品）」を発売した。

通販では商品を拡販し、販売量を維持していくためには購入者に響くメッセージやパッケージデザインを考案するクリエイティブ力も欠かせない。ファーマフーズグループはファーマフーズ子会社の明治薬品、化粧品などを手がけるフューチャラボを手がける。以前は各社のクリエイティブチームは自社商品のクリエイティブを行っていたが、現在はグループ間の壁を取り払い、連携を強化している。例えばファーマ

フーズの商品の訴求が当たれば、その情報を明治薬品とフューチャラボのクリエイティブチームに共有。今年度には他のグループ会社の商品のクリエイティブも担当するという取り組みを開始するなど、グループ一体となっていくクリエイティブ力の向上を追求している。

明治薬品は通販事業およびCHC事業を通じた自社商品の拡販や、CMO事業の拡大に備え、125億円を投じて新工場を立ち上げる。同社は現在、富山市内に3つの工場を持ち、それぞれ近接している。新工場は本社機能を有する富山工場の隣に建設する。28年夏の稼働を予定している。生産能力を引き上げ、商機をつかみ取る。

出典：化学工業日報 2026年3月27日4面